

本年度第2回学校運営協議会（コミュニティスクール）が開催されました

令和2年10月31日（土） 10:00~11:00 新館・スタッフルームにて

学校側からの発言と委員からの助言及び意見交換の内容を掲載します。

【校長】

コロナ禍の影響で3月から6月まで臨時休校となりましたが、現在、本校の教育活動は、比較的順調に進んでいます。春に行う予定だった遠足は11月6日に実施し、文化祭は12月にWeb上で行うことになりました。修学旅行、イングリッシュキャンプについては、代替りの企画を考えています。

【IB研究グループ】

今年度、1期生が2年生となり、2期生が入学しました。休校中もオンライン授業を導入することができました。2年生は今年1月からディプロマプログラムが始まり、探究的な学びが身につけてきています。1年生は、8割強が部活動に入り、国際科の生徒と積極的に交流しているところです。

【ガイダンスグループ】

コロナの影響で模試など実施できない状況があり、気持ち揺れ動く生徒が多かったようです。推薦、AO入試に関しては、コロナの影響で2週間スケジュールが後ろにずれただものの、多くの生徒が出願しました。一般入試に関しては先の見えない状況がありますが、3月末まで丁寧にサポートしていきます。

【学習支援グループ】

現在、入試選抜、令和4年度から実施される新カリキュラム・新教育課程に向けての準備などに取り組んでいます。

【管理運営グループ】

前期は主に消毒作業に取り組みました。またコロナ対策費650万円の用途について検討し、主に校舎の網戸やPC、モニターの購入に充てることにしました。今年度は私費が余る見込みなので、今後返金作業を行う予定で準備しています。

【生活支援グループより】

コロナの影響で休校が続き、生徒の心の問題を心配しています。部活動、委員会活動は年度当初オンラインでの活動でしたが、8月・9月頃から対面で活動が行えるようになりました。文化祭に代わる企画として、12月に動画コンテストを行う予定です。今後も教員によるフォローやカウンセリングを充実させていきます。

【国際研究グループ】

姉妹校訪問は昨年夏のオーストラリア、今年冬の韓国までは実施できましたが、アメリカ、フランス、ドイツ、モロッコ、台湾については中止になりました。県教委通知により、今年度の海外修学旅行、海外姉妹港訪問は延期または中止となっています。それに代わるものとしてオンラインでの交流事業を行っているところです。

【委員からの助言及び意見交換】

- ・ グランドの芝生について、大変綺麗に整備されていて感心しました。業者委託などを行っているのですか。
→ 種を蒔くのは県で行いますが、その後の管理は学校の職員が担当しています。

- ・ 国際高校であるがゆえに、もっと日本のことを学んでほしいと思っています。NHK番組『にほんごであそぼ』は日本語の豊かな表現が学べるので生徒に勧めたいと思います。

- ・ コロナの影響で、新しいシステムが導入されるようになっていきます。教育の中でそれを今後どう構築していくかが大事であり、期待しております。

- ・ 生徒の心の悩みに関して、昨年度と違うと感じたところがありますか。
→ 通常登校になって、休校期間中に抱えていた問題が表面化したケースがありました。また、カウンセリングの件数が少し増えています。年次の先生と連携して、早く気づいてフォロー出来るよう努力したいと思います。

- ・ 国際科と IB コースで教科の中で交流するカリキュラムはありますか。
→ 体育の授業は合同で行っています。他にも第 2 外国語や総合的な探究の時間などの必修科目と一緒に学ぶ機会がありますが、交流は部活動が中心です。国際科と IB コースでそれぞれ学びの利点があるので、今後はお互いの成果を発表し共有できる機会が持てるように考えていきます。

- ・ IB コースの CAS について、外部の立場から関わっていきたくと思っています。
→ 生徒も喜ぶと思います。教員側からも生徒の活動の後押しをしていきます。

- ・ 弘明寺駅から学校まで距離があるが、健康のためバスを使わず歩くことをお勧めします。ぜひ、生徒にご指導ください。

- ・ 進路状況を見たところ、第 12 期生は横浜市立大学への多かったようですが……。また、家庭での経済状況と進路に関して、学校で何か対応をしていることはあるのですか。
→ 奨学金併用は増えています。学校独自での対応は難しいのですが、行政に要求していく必要はあると思っています。横浜市大が多いのは、学部の再編があり、横浜国際高校での 3 年間の学びを活かせるという理由で選択した生徒がいるのではない

かと思われます。